

小金井市長期計画起草委員会（第2回）次第

■環境・都市基盤／地域・経済

日時 令和元年9月12日（木）午後6時30分から

場所 前原暫定集会施設A会議室

■子ども・教育／福祉・健康

日時 令和元年9月25日（水）午後7時から

場所 市民会館・萌え木ホールA会議室

■文化・生涯学習／行政経営

日時 令和元年9月24日（火）午後6時30分から

場所 市役所第二庁舎801会議室

【次第】

- 1 政策の取組方針について
- 2 その他

【配布資料】

別紙配布資料一覧のとおり

小金井市長期計画起草委員会

配 付 資 料 一 覧

	No.	資 料 名	備 考
第 1 回 (9/4) (9/13)	1	政策の取組方針（案）	【当日配布】
	2	審議会意見まとめ	【当日配布】
	3	政策と施策分野のイメージ	【当日配布】
第 2 回 (9/12)	4	政策の取組方針（環境・都市基盤、地域・経済）（案）	【当日配布】

環境と都市基盤

自然と都市環境が調和した人に優しいまち

美しく質の高いみどりと水、静かで落ち着いた住宅地、そして子どもたちの元気な声が聞こえる街並みはともに小金井市の魅力です。これからも一人ひとりがこれらの魅力を更に磨くとともに、住みやすい住宅地、訪れたい市街地の形成を実現し、便利で暮らしやすいまちをつくれます。

●豊かなみどりと水の保全と活用

一人ひとりが守り育てたみどりと水を、これからの世代にも引き継ぎ、今後もみどりと水が小金井市の魅力であり続け大都会の憩いとなるよう、公園や農地、水辺などの自然や景観を守り育て、いかします。

●環境に優しい循環型社会の形成

将来にわたって良好な環境を守るため、限りある資源の有効活用、ごみ分別の徹底、省エネルギーの取組など、身近な環境保全活動を市民とともに実践することで、環境に優しい持続可能な循環型社会をつくれます。

●魅力的で快適な、人に優しいまちづくりの推進

みどりと水の魅力を求め、多くの人が訪れたいと思い、快適さを感じることができるまちであるよう、自然環境と調和しながらも利便性が高く、ユニバーサルデザインに配慮した、誰もが安心して小金井市を訪れ、そして暮らせる魅力的で優しいまちづくりを進めます。

【検討事項】

① 「子どもと生徒・学生」→「子どもたち」

(理由) 学校に通えない児童・生徒・学生を除外しない表現にするため

② ●情報通信技術を活用し環境・都市基盤の高度化をはかるまち

情報通信技術を活用して、小金井市の物的基盤とみどりと水の管理、権利を担保して市民の安心安全の質を向上します。

地域と経済

安心して過ごせる暮らしやすいまち

地域で助け合い、安心して暮らすことができるとともに、多様な市民力や地域性をいかした産業を振興し、賑わいのあるまちを実現します。

● 自助・共助・公助のバランスがとれた地域社会の構築

大規模な災害や多様な犯罪の発生から生命や財産を守り、安心感の下で生活を送ることができ、誰もが自立した生活ができるよう、いたわり、助け合う地域にします。

● 便利で暮らしやすく賑わいのあるまちの実現

日常生活において便利で暮らしやすいまちであるとともに、市外から訪れる人にとっても魅力的なまちであるよう、商店街や個人商店、都市農業及び教育・研究機関などの地域資源をいかし、これらを守り育成するとともに、新しい魅力の発掘と創生を進めるほか、新たなビジネスの創出により、小金井市にふさわしいまちの賑わいを創出します。

【検討事項】

① ● 地域経済資源の発掘と創生

小金井市は自然環境に恵まれるだけでなく、文教地区としての資源や文化的遺産に恵まれています。これらを新たな視点から見直し発掘するとともに、新たな資源を創生します。

→「● 便利で暮らしやすく賑わいのあるまちの実現」に表現を追記

(理由)「施策」の内容であるため。

「● 便利で暮らしやすく賑わいのあるまちの実現」のための施策と考えられる。

→「新しい魅力の発掘と創生を進める」の表現を追記する。

具体的な取組としては、基本計画または個別計画(産業振興プランなど)での掲載を検討していく。